

# 秀英体

大日本印刷の「秀英体」が  
フォントワークスの  
ラインナップに仲間入り！

100年以上にわたり開発が行われてきた歴史ある「秀英体」を  
フォントワークスの年間定額制フォントサービス「LETS」へ提供、  
また、組みみフォントとして販売してきます。  
デザイナーから長年愛され、定番書体として使用され続けてきた  
伝統ある「秀英明朝」「秀英初号明朝」などが加わり、  
フォントワークスのラインナップは、さらに多彩になりました。

## TOPICS

フォントワークスサイトの、「書体見本」ページに、該当書体を任意のテキストで表示することができる、フォントファインダー機能を設置しています。秀英体の書体見本も表示できますので、ぜひ、お試しください！

<https://fontworks.co.jp/fontsearch/>

## フォントワークス株式会社

〒812-0026 福岡市博多区上川端町13-15 安田第7ビル7F  
<https://fontworks.co.jp/>

製品についてのお問い合わせは  
フォントワークスサポートセンターまでお問い合わせください

TEL ☎ 0120-780241 / 092-261-5677  
FAX 092-261-5688 / E-mail info@fontworks.co.jp  
受付時間(月～金)AM10:00～11:30 / PM1:00～5:00  
FAX、E-mailは24時間受付

※記載されている会社名、商品名、ロゴは各社の商標または登録商標です。

## 使用許諾

●…LETSで許諾しています / ▲…制限事項あり / ×…LETSで許諾していません

印刷	出版、広告、販促物、製品への使用	●
文字の加工	変形、加工、分解、再編成	●
	ロゴ 商標登録あり	●※1
	ロゴ 商標登録なし	●
デジタルコンテンツ	電子カタログ、画像としてのサイネージ	●
電子書籍	画像として文字を表示	●
	固定レイアウト型のサブセットフォント表示	●
	可変レイアウト型のサブセットフォント表示	●
	PDFファイルにエンベッドして表示	●
	動画のテロップ文字を画像として表示	●
	表示機器へのフルセットフォントの組みみ	×※2
Web	画像としての表示	●
	Webフォントとして使用	×※3
放送・映像	映画、放送番組、PV、CF	●
	DVDなど販売用のコンテンツ	●
ゲーム・アミューズメント	コンテンツ内での画像として文字を表示	●
	文字編集機能や「ダイナミックフォント」又は「フォント組み込み」での使用	▲
Adobe Animate (旧 Flash) でのフォント埋め込み	静止テキスト	●
	ダイナミックテキスト	▲※4
	任意にテキスト入力	▲※4
サーバーへのフォントインストール	サーバー運用でのフォント管理	▲
	ASPサービスでの使用	▲

※1)フォントのタイプフェイス及びプログラムの独占使用は不可。

※2)カスタマイズする各種OEMフォントおよび組みみ用のフォント開発・提供は、別途ご相談ください。

※3)FONTPLUS for LETS PUTKのお申込みで可能。

※4)有償オプション拡張ライセンスもご用意しています。

※上記以外で判断がつかないケースや詳細な情報は、サポートセンターまでお問い合わせください。

## 秀英体とは

秀英体は、大日本印刷の前身である秀英舎の時代から、100年以上にわたり開発を続けている書体です。近代化が急速に進展した明治初期に、活字の開発に取り組みはじめ、現在のフォントデザインに大きな影響を与えています。

活字書体として誕生した秀英体のデザインは、活字の大きさや時代のニーズに合わせた豊富なバリエーションが特徴で、いきいきとした筆づかいには、ことばに雄弁な表情を与え、あざやかに彩りを加えます。

この100年、文字をめぐる環境は活版印刷からDTP、そして電子書籍へと大きく変化しています。しかし、いかに環境が変わろうとも、文字はコミュニケーションの基盤であり、美しく読みやすい書体が果たす重要性は変わりません。

常に新しく生まれ変わり、最前線で使われ続ける書体であること…秀英体とは、革新の姿勢そのものだといえるでしょう。

## 提供書体

秀英明朝-L	秀英四号かな
秀英明朝-M	秀英四号太かな
秀英明朝-B	秀英角ゴシック金-L
秀英初号明朝	秀英角ゴシック金-M
秀英横太明朝-M	秀英角ゴシック金-B
秀英横太明朝-B	秀英角ゴシック銀-L
秀英アンチック	秀英角ゴシック銀-M
	秀英角ゴシック銀-B
	秀英丸ゴシック-L
	秀英丸ゴシック-B

秀英体

書体見本

秀英明朝<sup>1</sup>L

吾輩は例のごとく椽側に出て

ABCDE  
abcde  
12345

秀英明朝<sup>1</sup>M

吾輩は例のごとく椽側に出て

ABCDE  
abcde  
12345

秀英明朝<sup>1</sup>B

吾輩は例のごとく椽側に出て

ABCDE  
abcde  
12345

Pr6

「秀英明朝」は、一筆書きが印象的で雄弁な表情を持ち、しっかりとした信頼感を読者に与えます。近年のリニューアルでは、これまでの特徴を踏襲しながら、細部のデザインは活字時代の原字に立ち返り、書体本来の姿を探っていきました。横画は他の明朝体に比べ太めに開発しているため、ちらつきが少なく、目に優しい黒みを保ちます。3種類のウエイトを本文組や見出しとして組み合わせることで、秀英体の表情による統一感と落ち着いた印象を伝えます。

秀英角ゴシック金<sup>1</sup>L

少し洒落過ぎているがと思う

ABCDE  
abcde  
12345

秀英角ゴシック金<sup>1</sup>M

少し洒落過ぎているがと思う

ABCDE  
abcde  
12345

秀英角ゴシック金<sup>1</sup>B

少し洒落過ぎているがと思う

ABCDE  
abcde  
12345

秀英丸ゴシック銀<sup>1</sup>L

少し洒落過ぎているがと思う

ABCDE  
abcde  
12345

秀英丸ゴシック銀<sup>1</sup>M

少し洒落過ぎているがと思う

ABCDE  
abcde  
12345

秀英丸ゴシック銀<sup>1</sup>B

少し洒落過ぎているがと思う

ABCDE  
abcde  
12345

Std

「秀英角ゴシック」は、ゴシック体としての視認性と本文用としての読みやすさを意識して開発した書体です。仮名のデザインの違いで「金」と「銀」の2種類があり、用途に応じて使い分けができます。従来からある秀英角ゴシックを受け継いだ「金」は、明るい表情でオーソドックスに幅広く使えます。また、「秀英明朝」の骨格を活かしたことでクラシックな印象の「銀」は、明朝と同じように長い文章にも適しています。太さはどちらもL・Bの2種類です。

秀英初号明朝

吾輩は例のごとく椽側に出て

ABCDE  
abcde  
12345

Std

「秀英初号明朝」は、フラッグシップとしての魅力が凝縮されており、完成から100年を経てもファンの多い書体です。漢字が持つ力強い線の動きと、スピード感のある仮名。筆使いを感じさせるデザインが特徴的な、見出し専用書体です。近年のリニューアルでは、完成期の昭和4年の見本帳を参考に、力強いだけでなくゆったりとした鷹揚さを現代に蘇らせました。見出しなど大きいサイズでの力強い表現に最適です。

秀英横太明朝<sup>1</sup>M

吾輩は例のごとく椽側に出て

ABCDE  
abcde  
12345

秀英横太明朝<sup>1</sup>B

吾輩は例のごとく椽側に出て

ABCDE  
abcde  
12345

Std

「秀英横太明朝」は、画面表示でかすれやすい漢字の横画を太め、明朝体の品格はそのままに、ゴシック体のような視認性をも確保した書体です。「秀英明朝」の持つしなやかな筆の運びや太さの強弱を残すことで、明朝体の味わいや気品を損なうことなく、視認性を高めた書体です。映像字幕やディスプレイ表示などに最適です。

秀英アンチック

眼をねむりながらかく考えて

ハヘリ  
ロホチ  
イニト

Std

秀英体の中でも「秀英アンチック」は、辞書の見出しやコミックのふきだしに使用してきた太仮名の書体です。「秀英明朝」とは異なる骨格を持ち、見出しとしての適性を備えている他、角ゴシックの漢字と組合せても負けない存在感を持ち合わせています。「秀英角ゴシック」との組合せは、不思議と力強いメッセーj性を感じさせます。

※「秀英角ゴシック傘B」の漢字と組合せてご提供します。

秀英四号かな

眼をねむりながらかく考えて

ハヘリ  
ロホチ  
イニト

Std

「秀英四号かな」は、現在の「秀英明朝」のルーツとなる書体で、秀英体らしい端正さ、クラシックで上品なデザインを持ち、本文組の適性だけでなく、タイトルや見出しでも映えるオールラウンドプレイヤーとも言える書体です。昭和3年の見本帳をベースに復刻し、直線を一切使わず、画線の先端に活版の「にじみ」を想定した適度な丸みを持たせることで、大きな文字サイズで使用しても柔らかいカーブが再現され、「秀英明朝」よりも古風な印象を与えます。

※「秀英明朝<sup>1</sup>M」の漢字と組合せてご提供します。

秀英四号太かな

眼をねむりながらかく考えて

ハヘリ  
ロホチ  
イニト

Std

「秀英四号太かな」は、「秀英四号かな」とは別の骨格を持ち、見出しや児童書の本文にも用いられていた書体です。これまでの秀英体ラインアップとは違う、ゆったりした表情と縦書きでの筆脈を随所に感じさせる個性的な平仮名、それに負けない力強さを持った片仮名を昭和3年の見本帳をベースに復刻しました。見出しなど大きいサイズでインパクトのある表現に最適です。

※「秀英初号明朝」の漢字と組合せてご提供します。

秀英丸ゴシック<sup>1</sup>L

少し洒落過ぎているがと思う

ABCDE  
abcde  
12345

秀英丸ゴシック<sup>1</sup>B

少し洒落過ぎているがと思う

ABCDE  
abcde  
12345

Std

「秀英丸ゴシック」は、秀英体の魅力をさらに広げるため、新たに秀英体ファミリーに加わった書体です。写植時代にあったような小ぶりで優しい雰囲気を持つクラシックな印象の丸ゴシックで、やわらかな表情の中にもどこか説得力を感じさせることのできる書体です。漢字と仮名に程良い抑揚があり、本文用としての適性も十分に備えています。太さはL・Bの2種類です。